

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
7	P23 基本施策 (2)	【新規】 野菜配布事業	農楽校事業で収穫した野菜を一人暮らし高齢者家庭へ配布することで、見守りを行います。	みどりの 推進課	×	配布すべき野菜はありますが、一人暮らし高齢者家庭の情報を収集できず実施に至りませんでした。	廃止 (H29)	今後も一人暮らし高齢者への具体的な配布方法、見守り方法を定めることができないため、同事業は廃止とします。主旨を変えて福祉団体に対して農楽校の野菜利用を促していきます。
16	P25 基本施策 (3)	女性消防団員高齢者宅防火 診断	一人暮らしの高齢者宅を訪問して火災予防を呼びかけ、家庭内の防火診断を実施することで、安否の確認などを行います。	消防本部 総務課	△	対象者1,396人に対し、女性消防団員が10人のため、独居の75歳以上、かつ、長久手中学圏域等に対象者を絞り込み、訪問の可否について通知を発送しております。	改善	対象者の絞り込みは単独での実施が困難なため、関係課等と連携し、効果的な防火点検が実施できるよう改善を図ります。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
18	P27 基本施策(4)	【新規】 集会所などの既存施設を 拠点とした孤立死防止対策 事業	地域共生ステーション、集会所などに 地域住民が交代で常駐し、地域のコミ ュニケーションの場を提供します。い ずれは、一人暮らし高齢者の見守りや ごみ出しなどの軽作業を手伝う活動 として広げていきます。	たつせが ある課	○	地域共生ステーションにおいては、スタッ フが常駐し、いつでもだれもが気軽に立ち 寄れるコミュニケーションの場を提供して いますが、一人暮らしの高齢者の見守りや ごみ出しなどの軽作業を手伝う活動は展開 できていません。	改善	集会所については、地域で管理してお り、本計画期間の活動拠点としては困難 であるため取りやめとし、各小学校区に 整備する地域共生ステーションが拠点 となるよう順次整備していきます。 また、高齢者の見守りやごみ出しなどの 軽作業を手伝う活動が地域でできるよ う支援をしていきます。
22	P28 基本施策(4)	【新規】 徘徊高齢者搜索模擬訓練	自治会、地域団体などの協力を得て、 徘徊高齢者の搜索訓練を実施します。	長寿課	△	平成26,27年度と行政主導で市民や事業者 の協力を得て訓練を実施してきましたが、 認知症を地域全体で見守るという意識を市 民や事業者に高めてもらうために、訓練の 実施という結果にこだわらず、地域の認知 症理解を深めていくプロセスを重視して、 市民や事業者が主体となった訓練を働きか けていきます。	改善	これまでの訓練で、徘徊高齢者の問題関 心は高まったものの、認知症の方の見守 りを通じた地域力向上という主目的は 果たせていません。訓練の背景にある社 会の要請等をしっかり伝え、地域が主体 性を持って訓練の実施ができるよう、地 域での認知症理解の底上げを図り、訓練 開催の支援を行うことに注力していき ます。
30	P36 基本施策(6)	地域福祉に関する情報シ ステムの活用	地域福祉の推進にむけた情報システ ムの活用を図ります。	情報課	○	現在運用しているホームページ作成システ ムは、アクセシビリティに対応した機能は 備えており、アクセシビリティ改善を目的 とした検証を行うことで情報を受け取りや すくできるよう図っていきます。	継続	他市町の状況の聞き取り及びホームペ ージのアクセシビリティに関する外部 の研修会等に参加し、現状の課題の洗い 出し及び改善方法について検討してい きます。

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
33	P38 基本施策(7)	【新規】 ごみの訪問収集	自らごみを収集場所に持ち出すことが困難な方を対象に個別の訪問回収を行うことにより、地域の見守り体制が確立できるよう検討します。	環境課	×	市のワンコインサービス事業や、長久手市シルバー人材センターのサービスを使い、ごみ出しの依頼をすることができるため、実施していません。	廃止 (H27)	既存のサービスの周知に努め、本事業は廃止します。
43	P42 基本施策(8)	高齢者日常生活用具給付金	寝たきりやひとり暮らし高齢者などを対象に、介護保険のメニューにはない電磁調理器の給付などを行います。	長寿課	○	H28.12月現在で、申請者数が0人でした。事業の周知が不足していると考えられます。	廃止 (H28)	電磁調理器の使用は、火傷などのケガや失火を防ぐために有効です。事業の周知が進んでいる高齢者住宅改修事業の対象に組み入れることで、ケアが必要な方の安心安全な暮らしを確保してきます。
45	P42 基本施策(8)	【新規】 グループホーム運営支援	障がいのある方が、安心して生活できる環境を整えるため、生活の場としてのグループホームの確保に努めます。認知症高齢者グループホームとの連携も検討します。	福祉課	○	自立支援協議会福祉サービス支援部会においてグループホーム整備への支援について検討(体験利用の実施、補助金等)を行いました。 なお、認知症高齢者グループホームとの連携については、検討しておりません。	継続	引き続き自立支援協議会福祉サービス支援部会でグループホーム整備への支援に向けて検討(体験利用の実施、補助金等)を行い、開設に向けて協議してまいります。 また、平成30年度予算にて体験利用のための予算を計上(600千円)

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
60	P54 基本施策(13)	キャラバン・メイト/認知症サポーター養成研修事業	認知症を正しく理解し、認知症の方やご家族をあたたく見守る「認知症サポーター」や講師役の「キャラバン・メイト」を養成します。	長寿課	○	市内小中学校の協力のもと、小学5年生、中学2年生を対象にサポーター養成講座を実施しています。キャラバンメイト養成研修についてはH26年度に実施した以降行っていません。H29年度はキャラバンメイト同士の交流を深める場を設けています。	継続	引き続き教育の場で認知症の理解が深まるよう、講座を実施してまいります。キャラバンメイトについては、ステップアップ講座等の実施も検討してまいります。